

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2022年5月13日

事業所名 彩Sai Kids

保護者等数(児童数) 4 回収数 2 割合 50 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	①	①				整理整頓をこころがけ不要なものは置きません
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	②					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	②					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	②					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	②					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	②					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	②					
	8 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	②					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	①				① コロナで難しいですね	落ち着いたら検討していきます
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	①	①				不明な点は担当者から説明させていただきます
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	②					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	②					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	②					送迎時に情報共有していきます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	②					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	①				① コロナで難しいですね	人数を考慮しながら検討していきます
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	②					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	①				① 写真を共有してほしい	LINEなどで発信していきます
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	②					情報発信していきます
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	②					全職員でコンプライアンスを高めています	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	①	①				職員だけでなく保護者にも説明していきます
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	②					避難訓練の様子を発信していきます
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	②				楽しんでいます	
	23 事業所の支援に満足しているか	②				祝日はありがたいです	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年5月13日

事業所名 彩Sai Kids

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		整理整頓を心掛け無駄な物を置かない。	
	2 職員の配置数は適切である	○		訪問部と連携し、職員の確保を基準以上配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設内装工事の際に段差が無いように設計した。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日床も消毒、清掃している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングを定期的実施している	非常勤も参加できるよう、工夫をしていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		今回が初めての評価であり、今回から実施していく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今回が初めての評価であり、今回から実施していく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価を行っていない。今後要検討とする。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		入職時、月次研修を行っている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントシートを活用し、職員全体で評価を行い支援計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを活用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		家族のニーズの把握、課外活動や屋内活動、社会参加など固定化しないように立案している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		全員に周知できるよう立案の際は閲覧できるようにしている。	日々支援した内容を共有できるようコミュニケーションを深める。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職種を問わず、プログラムの立案、提案を行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		課外活動や室内で療育など、固定化しない工夫を実施している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		午前、午後に分けて計画を立てて実施している	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育リーダーを中心に毎朝確認している	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		個別支援計画期間ごとに半年に1度の評価、見直しを行い、児童・保護者様へ同意を得ている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録や反応など、共有している。	
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングを行い適宜支援計画を変更するようにしている。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には必ず、管理者や療法士など専門職も参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		児童発達支援センターとの連携を図り、サポートブックなど情報提供を頂いている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		相談員さんと連携を図り、支援計画に沿って支援している。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		緊急時対応表を作成し、対応できるよう工夫をしている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		お迎え時に情報を交換している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		開業して1年未満のため、該当児童がいないが、今後は情報を共有していく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターとの連携をはかり、担当者会議を定期的に参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		近所でイベントがある時はなるべく参加するようにしている。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		会議がある時はなるべく参加し、参加できないときは相談員さんと連携を図っている。	
保護者への説明責任等	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に情報の共有を行っている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		デイでの様子をお伝えし専門職の職員からご質問に対し回答をさせて頂いている	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約時に説明させていただき、不明な点がある場合は管理者が回答させて頂いている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ご契約時に説明させていただき、不明な点がある場合は管理者が回答させて頂いている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談いただいたことは、専門の職員が回答を実施し記録に残している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナの影響もあり、保護者と児童が参加できるイベントの企画はできていない。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談いただいたことは、専門の職員が回答を実施し記録に残している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		彩SaiKidsだより発行したり、SNS等で活動の報告を実施している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報(鍵付きの書庫)に保管しており漏洩しないよう職員にも注意喚起を促している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個別支援計画を立案し、支援している。	
非常時等の対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		隣店舗との交流を図っている	
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し実施	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		法定どおりに実施。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのものの状況を確認している	○		契約前に記載をお願いしている	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーがある場合は食事は家庭で用意し持参してもらっている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		インシデントレポートを作成し、再発防止のため、ミーティング時に対策を話し合っている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年次研修で実施している。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		該当する児童がいないが、身体拘束に対する研修は実施している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。